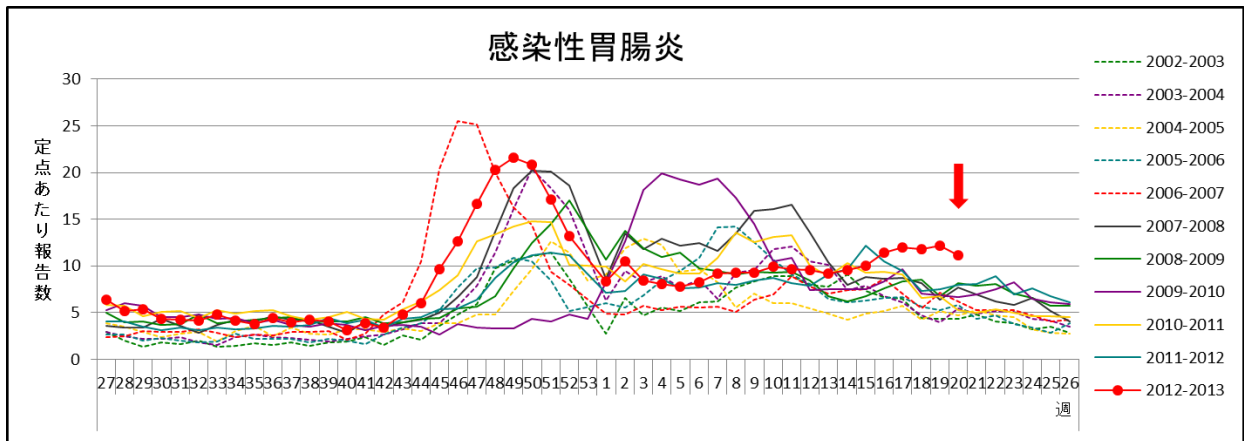


感染性胃腸炎情報 2013 年 第 20 週 (5 月 13 日 ~ 5 月 19 日)

○岡山県内の患者報告数は 601 名 (定点あたり 12.13 →11.13 人) であり、前週より減少しました。

【第 21 週 速報】

○感染性胃腸炎による学校等の臨時休業が浅口市の幼稚園 1 園でありました。(5 月 23 日)



※感染性胃腸炎は秋から翌年の春にかけて流行するため、前年 27 週 ~ 今年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

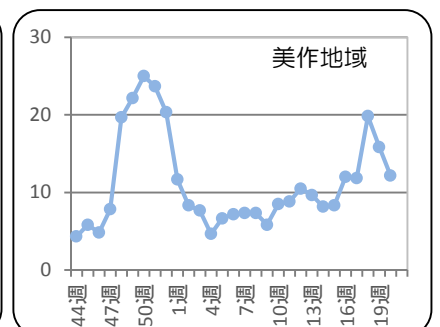
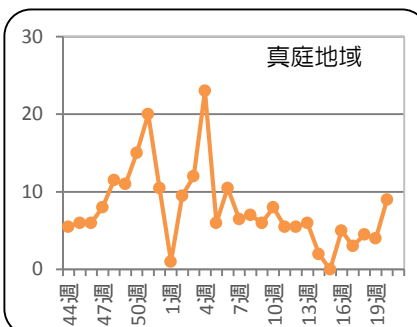
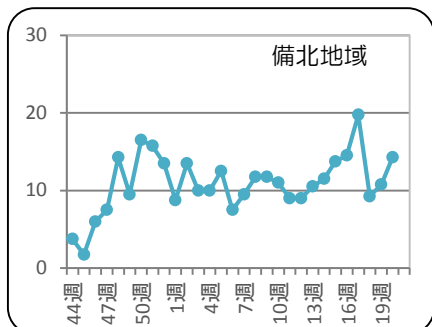
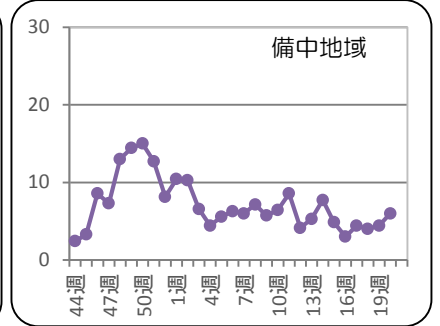
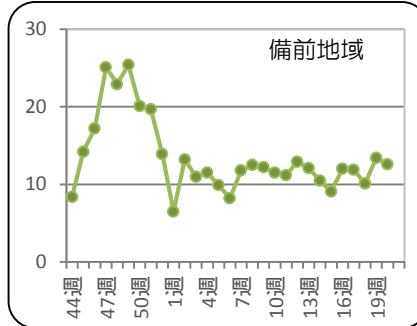
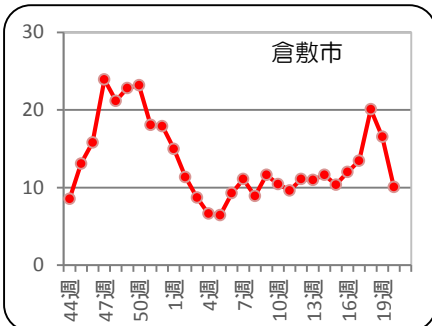
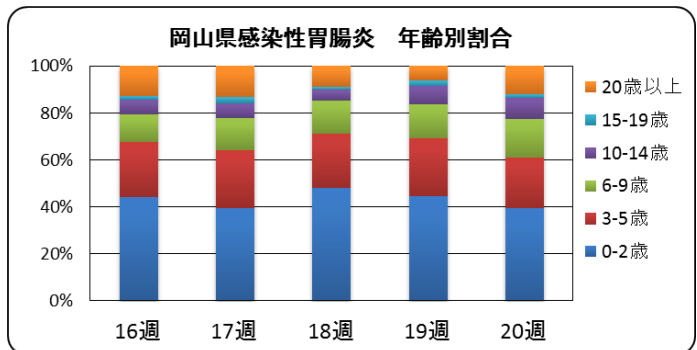
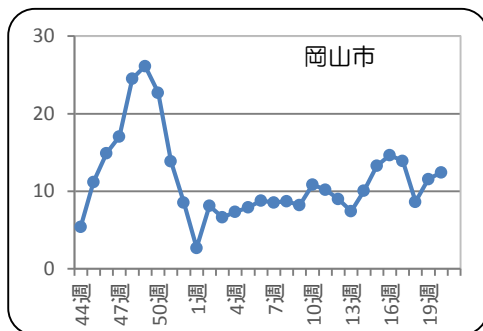
感染性胃腸炎は、601 名 (定点あたり 12.13 →11.13 人) の報告があり (54 定点医療機関報告)、前週より減少しました。第 16 週以降、過去 10 年の同時期と比較して、最も患者数が多い状態で推移しています。地域別では、備北地域 (14.25 人)、備前地域 (12.60 人)、岡山市 (12.43 人) の順で定点あたり患者数が多くなっています。

年齢別では、0~2 歳が全体の 39% を占め、ひきつづきこの年齢層の割合が、多くを占めています。

全国の第 19 週 (5/6~5/12) の集計によると、岡山県の定点あたり患者数 (12.13 人) は、大分県 (18.44 人)、新潟県 (15.03 人)、島根県 (13.35 人)、愛媛県 (12.32 人) に続いて全国で 5 番目に多くなっています。トイレの後や食事、調理の前には、特にしっかりと石けんと流水で手洗いを行う等、感染予防に努めてください。

例年 3~5 月にかけては、ロタウイルスによる胃腸炎が、0~2 歳の乳幼児を中心に増加するとされています。ノロウイルスに比べ重症度が高いといわれていますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診してください。

◆地域別・年齢別発生状況(定点あたり数)





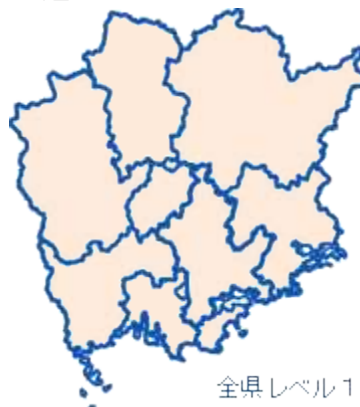
岡山県地区別 感染性胃腸炎感染症マップ 2013年 20週

2013年5月22日

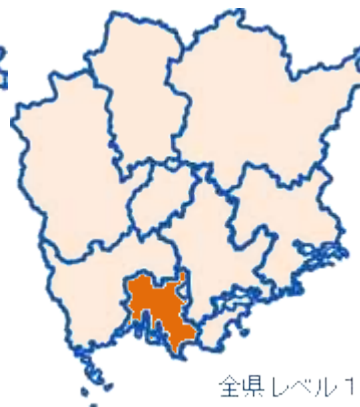
9:05:28



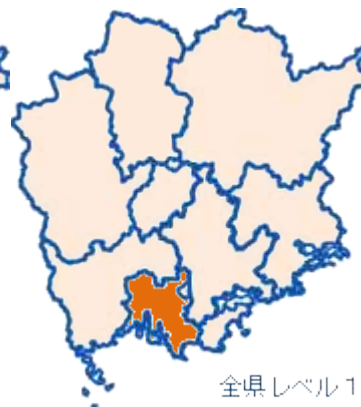
20週 5/13~



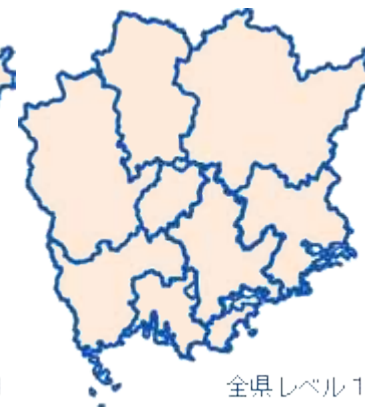
19週 5/6~



18週 4/29~



17週 4/22~



16週 4/15~



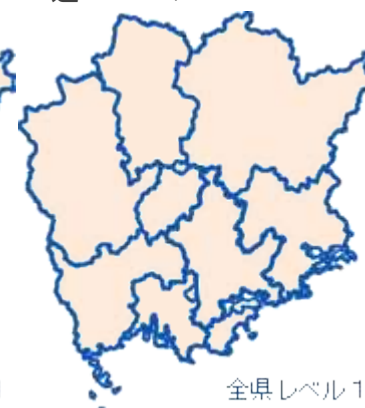
15週 4/8~



14週 4/1~



13週 3/25~



感染性胃腸炎

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
20	12		0 < 20 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。